

単元		年組番	
三年上	漢字の音と訓 <small>おん くん</small>	氏名	

漢字の音と訓について

漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。たとえば、「人」には、つぎの二とおりの読み方があります。

人

(音) ジン・ニン 人口 人物
(訓) ひと 人がら・人びと

「ジン」・「ニン」のような「音」の読み方は、聞いただけでは意味の分りにくいものも多く、「ひと」のような「訓」の読み方には、聞いただけで意味の分かるものがたくさんあります。



どうして「音」と「訓」があるのかな？

漢字は、はるかむかしに中国で生まれました。いっぽう、日本には、もともと文字がありませんでした。そこで、むかしの日本人は、となりの中国で使われていた漢字を使って、日本語を書き表わせるようになっていきました。

たとえば、中国語では「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいました。そこで、日本でもこの漢字を「サン」と読みました。これが「音」です。

それとはべつに、日本では、古くから「まわりの土地より高くなっていく所」のことを、「やま」といっていました。そこで、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが「訓」です。

だから「音」「訓」の二とおりの読み方があるんだね！



三年上 漢字の音と訓	単元
氏名	年組番
20問	

1 教科書上巻135ページ〜138ページの「これまでに習った漢字」を見て、音と訓が入った漢字を探し、音読みと訓読みを使った文を作りましょう。

〈れい〉

(1)

岸	
訓	音
きし	ガン
文	文
ボートを川岸につけるのは、大変だった。	昨日、海岸で、きれいな貝をひろった。

(2)

訓	音
文	文

(3)

訓	音
文	文

(4)

訓	音
文	文

訓	音
文	文